

# 緊急事態宣言下の感染症予防・対応について

犬山北小学校 R3.8.31現在

## 感染症対応① 体調不良者の対応について

○体調不良で教室復帰できない場合は、早退手続きをとる。

\*体調不良の児童で、

- ・発熱の場合（発熱は、37.0℃～37.5℃を目安とする）
- ・かぜ症状や倦怠感など、感染症の面で心配な児童
- ・体調不良で授業を受けることが難しい児童

は、早退手続きをとる。



\*目安は、「1日を元気に過ごすことができるかどうか」

授業を元気な状態で受けることができない場合は、体調回復・抵抗力回復を優先し、保護者に相談し、お迎えをお願いします。

\*お迎えの際は、インターホンを押していただく。（正面玄関または西渡り通用口にインターホンあり）  
（他児童との接触を避けるよう動線に注意する。範囲を限る。）



○発熱等の症状がみられた児童は、別室で対応する。

\*早退する児童は、語らいの部屋（保健室横）で対応する。

\*毛布はできるだけ使用しない。

寒いときは、洗濯可能なタオルなどを使用する。

\*別理由で保健室を利用する児童と重ならないように、  
初期対応を語らいの部屋で行う。



○早退後、休養後は・・・

\*換気を徹底する。

\*机と椅子をアルコール消毒する。

\*使用した物品は、消毒または洗濯する。



○相談や落ち着く場所として保健室を利用する場合は・・・

\*もしも、体調不良者の休養や対応状況で保健室を使用できない場合は、空き教室を使用するなどして、授業のない職員で対応する。（過ごす場所を分ける）

※ 体調不良者と他の理由での利用者が同空間とならないように注意する。

# 感染症対応②

# 児童への指導

## ○手洗いの徹底

- \*石けんを使い、丁寧に洗う。
- \*給食前、清掃後、休み時間に、全員で必ず手洗いを行う。



**給食前、青空タイム（2時間目の休み時間）、いきいきタイム（お昼休み）に全員手洗いを行う**

- \*給食時は、手洗い場が混雑しないように職員を配置し、様子を見ながら誘導する。
- \*ハンカチを持参するように指導する。
- \*図書館を利用する際は、入室前・退室後に必ず手を洗う。

## ○マスクの着用

- \*常に着用する。
- \*予備のマスクをカバンに入れておくよう指導する。
- \*外してOKな場面 → 給食（食べる直前で外し、食べ終わったらすぐに着用）  
体育の運動時（十分な距離を確保できることが条件）  
暑い時期の登下校時（十分な距離を保ち、会話をしないことが条件）



## ○健康チェック

- \*登校前に検温し、健康チェックカードに記入する。→毎日、下駄箱で学年職員が確認する。
- \*検温を忘れた児童は、下駄箱で学年職員が測定する。
- \*発熱者や体調不良で1日元気に過ごすことができない状態での登校者は、教室ではなく保健室へ直行し、語らいの部屋で対応、早退手続きをとる。
- \*遅刻で登校した児童は、教室入室前に職員で健康状態の確認（チェックカード確認）をする。  
手指アルコール消毒を済ませてから入室する。



## ○体調管理

- \*登校後、体調不良を感じたらすぐに申し出るよう指導する。
- \*日頃から抵抗力を落とさないような生活を心がけるように指導する。（睡眠、栄養、運動、休養）



## ○手指消毒

- \*適宜、アルコール消毒をする。（登校時、給食当番、その他手洗いができないような場面）
- \*特別教室で、複数の児童が共用する教室は、入り口で手指消毒を行う。
- \*学級に、手指消毒用アルコールを配付する。
- \*家庭から手指消毒液を持参する場合は、「貸さない・遊ばない・自分で管理」を守るように指導する。



## ○密を避けるための傘さし登下校について

- \*熱中症予防としての「マスクを外した登下校」を安心して行うために実施する。  
全員が傘をさすことで、人との間隔が空き、密を避けることができる。
- \*忘れた場合は、学校の傘を貸し出す。



## 感染症対応③

## 教室での対応について

### ○常に換気をする。

\*常に教室のドアと窓を開けておく。(校内の全窓開放)

\*冷暖房を使用する時期の注意点

**対角線上の「ドア」と「窓」を開ける。**

- ・窓とドアは15~20cm程度開けておく。
- ・冬場は、同じ児童ばかり寒い思いをしないよう配慮する。
- ・休み時間ごとに、**ドアと窓を全開**にして、空気を入れ換える。

\*教室では、サーキュレーターや扇風機を使用し、空気が循環するようにする。

CO<sub>2</sub>濃度測定器を活用し、換気の状態を把握する。



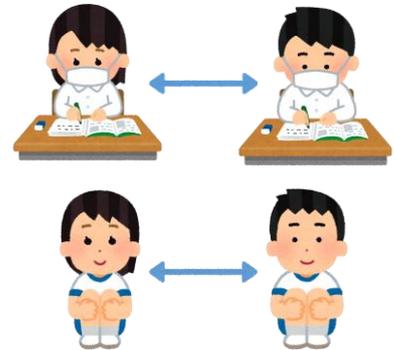
### ○ソーシャルディスタンスを保つ。

\*隣同士、座席をつけず、基本一人席とする。

\*グループ活動時は、間隔が保たれるように気を付ける。

対面を避けて行う。

\*グループ活動時に、大きな声を出す活動は行わない。



### ○給食は前向き座席、会食中はおしゃべり禁止。

\*班隊形にせず、前向き座席で会食する。

\*マスクは、給食を食べる直前で外し、食べ終わったらすぐに着用する。

\*当番児童は、手指のアルコール消毒を行う。

\*給食当番以外の児童は静かに着席する。

\*食器返却等で立ち歩く場合は、マスクを着用する。



### ○感染予防に気をつけて清掃を行う。

\*床拭きは、自分のぞうきんを使用する。

\*トイレ掃除は、児童が手袋を使用して行う。消毒が必要な箇所は、教職員が行う。

\*清掃終了後は、必ず全員が手を洗う。



### ○環境消毒（施設設備の消毒）は適宜行う。

\*毎朝、教職員が、ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、トイレ、蛇口などを消毒する。

\*児童下校後に、教室の「**ドアノブ**」「**窓鍵**」「**窓の手すり**」「**電気のスイッチ**」「**タブレット庫**」などを消毒する。

\*特別教室で、複数の児童が共用する教室は、授業後に消毒する。

# 感染症対応④

# 1日の流れ



\*その他 トイレ・ドアノブ・手すり等は、教職員が毎日消毒する。